

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 168 2020.10.28

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

「地域まるごと博物館」体験ツアー

波佐小学校5・6年生は、「波佐の歴史を学ぶ」で10月21日に教室で波佐の歴史講座を受講後に金城歴史民俗資料館へ移動して、企画展「考古資料に学ぶ金城の歴史」と「たたら製鉄資料」の展示を見学し、ふるさとの歴史学習を行いました。

引き続き、「地域まるごと博物館」体験ツアーを10月28日にマイクロバスに乗り込み、6箇所を見学し、波佐の魅力を体験しました。

コースは、①能海寛の生家である浄蓮寺(顕彰碑、歌碑、ハクモクレン、鐘楼門、総ケヤキ造りの本堂と阿吽の唐獅子、能海寛の墓)では、能海の足跡を辿った。②千年比丘1号墳(4世紀前半に造られた石見地方最古の古墳、径15mの円墳、3つの埋葬施設があり、中央の墳丘に弥生時代の砥石が置かれていた)を現地見学し古墳の立地などを学んだ。

③亀遊山大歳神社(神祇官領、長田別府の頃、黒金が年貢注文。波佐一本松城の鬼門除けの為に、現在地に遷宮された。)では、平安・鎌倉時代の学習をしました。

④常磐山八幡宮(文治元年、佐々木高綱創建、尼子経久再建立の神社。カシ林、大杉、絵馬、歌碑、手水鉢で銭占い。)では、神楽殿に掲示されている絵馬16面(宇治川の先陣争い、楠木正成親子桜井の別れ、六歌仙、鶴退治、折釘など)を見学しました。⑤普明山永昌寺(尼子経久創建の寺。大杉、径久の墓)を見学して、高台から小学校や地域全体を見下ろしました。⑥大潰鉄穴(江戸時代の鉄穴流し場跡)当時の鉄穴流し作業の形態が確認できる最適な場所である。

見学後、地域の再発見、魅力などについて全員が感想を述べた。11月に行われる学習発表会で総合学習の発表が行われます。また「カベ新聞」にも取り組まれます。



金城歴史資料館にて



マイクロバスに乗り出発



能海寛顕彰碑にて



千年比丘1号墳の見学



常磐山八幡宮



普明山永昌寺から大佐山を望む



大潰鉄穴場跡